

AWS 認定データ分析 — 専門知識

AWS Certified Data Analytics - Specialty

(DAS-C01) 試験ガイド

はじめに

「AWS 認定データ分析 — 専門知識」(DAS-C01) 試験は、データ分析ロールを遂行する人を対象としています。この試験では、データからインサイトを得るためのデータ分析ソリューションを、AWS サービスを使用して設計、構築、セキュリティ保護、および保守することに関する、全体的な理解度を評価します。

この試験で評価する能力は次のとおりです。

- AWS の各種データ分析サービスについて定義し、これらのサービスの関係について理解する。
- AWS のデータ分析サービスが、データライフサイクル (収集、格納、処理、および可視化) にどのように関係しているかを説明する。

推奨される AWS の知識

- 一般的なデータ分析テクノロジーに関する 5 年以上の経験
- AWS を使用した 2 年以上の実務経験
- AWS サービスを使用して分析ソリューションを設計、構築、セキュリティ保護、および保守する経験および専門知識

試験内容

回答タイプ

試験の質問には以下の 2 種類があります。

- **択一選択問題:** 選択肢には 1 つの正解と 3 つの不正解 (誤答) があります。
- **複数選択問題:** 5 つ以上の選択肢の中に 2 つ以上の正解があります。

文章に最もよく当てはまるもの、または質問の回答となるものを 1 つ以上選択します。不正解の選択肢は、知識やスキルが不十分な受験者が間違えやすいもので構成されています。多くの場合、試験の目的に応じた出題分野に当てはまる、もっともらしい回答になっています。

回答しなかった場合は不正解とされるため、推測でも答える方が有利です。

採点対象外の内容

試験には、採点の対象にはならない項目が含まれる場合があります。これは統計的な情報を集めるために試験に組み込まれています。フォーム上でこれらの項目を区別することはできませんが、スコアに影響を与えることもありません。

試験の結果

「AWS 認定データ分析 — 専門知識」(DAS-C01) 試験の結果は、合格または不合格のいずれかになります。試験は、認定業界のベストプラクティスとガイドラインに従って、AWS プロフェッショナルにより設定された最低基準に達しているかどうかに応じて採点されます。

試験結果は 100 ～ 1,000 点の範囲のスコアでレポートされます。最低合格スコアは 750 点です。スコアによって、試験での全体的な成績と合否がわかります。スケールドスコアモデルは、難易度にわずかな違いのある複数の試験形式のスコアを平均化するために使用されます。

スコアレポートには各セクションレベルでの成績の等級表が掲載されています。この情報は、試験成績に関する全体的なフィードバックを提供することを目的として設計されています。試験では補填形式のスコアモデルが使用されるため、個別のセクションごとに「合格」する必要はなく、試験全体で合格することのみが求められます。試験の各セクションには特定の重み付けがされているため、一部のセクションでは質問数が他のセクションよりも多くなっています。表には、長所と弱点を示す総合的な情報が含まれています。セクションレベルのフィードバックは慎重に解釈するようにしてください。

試験内容の概要

この試験ガイドには、比重、出題分野、および試験の目的のみが記載されています。試験の出題内容全体を記載しているわけではありません。出題分野と比重を以下の表に示します。

分野	試験における比重
分野 1: 収集	18%
分野 2: 格納およびデータ管理	22%
分野 3: 処理	24%
分野 4: 分析および可視化	18%
分野 5: セキュリティ	18%
合計	100%

分野 1: 収集

- 1.1 収集システムの運用特性を明確化する
- 1.2 データが発生する頻度、量、および発生元に対応できる収集システムを選択する
- 1.3 データの主要特性 (例: 順序、形式、圧縮) に適した収集システムを選択する

分野 2: 格納およびデータ管理

- 2.1 分析用格納ソリューションの運用特性を明確化する
- 2.2 データアクセスパターンおよびデータ取得パターンを明確化する
- 2.3 適切なデータレイアウト、データスキーマ、データ構造、およびデータ形式を選択する
- 2.4 使用パターンおよび業務要件に基づいて、データライフサイクルを定義する
- 2.5 データのカタログ化およびメタデータの管理に適したシステムを判断する

分野 3: 処理

- 3.1 適切なデータ処理ソリューションの要件を判断する
- 3.2 分析目的でデータを変換および準備するためのソリューションを設計する
- 3.3 データ処理ソリューションを自動化して運用可能なものとする

分野 4: 分析および可視化

- 4.1 データ分析ソリューションおよびデータ可視化ソリューションの運用特性を明確化する
- 4.2 提示されたシナリオに適したデータ分析ソリューションを選択する
- 4.3 提示されたシナリオに適したデータ可視化ソリューションを選択する

分野 5: セキュリティ

- 5.1 適切な認証メカニズムおよび承認メカニズムを選択する
- 5.2 データ保護テクニックおよびデータ暗号化テクニックを適用する
- 5.3 データガバナンスおよびデータコンプライアンスの管理テクニックを適用する